

TOKIO

MTQ オフィステーブル

取扱・組立説明書

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。

⚠ 警 告

◎ 廃棄するときは専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。
焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

⚠ 注 意

◎ テーブルに腰を掛けたり、乗ったりしないでください。破損の原因になります。
◎ 天板1枚に対して最大積載質量40kg（等分布）以上となるものを乗せないでください。変形、破損及び落下してケガをすることがあります。
◎ 設置場所は段差や大きな凹凸がない所を選び、全てのアジャスターが同時に接地する事を確認してからご使用してください。
◎ 設置後に移動をする場合は連結部を外してから必ず2人以上で持ち上げて移動してください。そのまま移動をすると破損することがあります。
◎ アジャスターは調整範囲（10mm）以内であることを確認（点検）の上、テーブル面を水平にして使用してください。変形、破損の原因になります。
◎ ボルトがゆるんだまま使用しないでください。破損やけがをすることがあります。
◎ 乱暴な取り扱い、改造、分解は絶対にしないでください。破損やケガをすることがあります。
◎ 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
◎ 直射日光や、ストーブなどの高熱をされてください。変形、変色及び火災の原因になります。
◎ 高温のものを直接テーブルの上に置かないでください。変形、変色、破損の原因になります。
◎ この製品は室内用です。野外、水のかかるところでは使用しないでください。また、湿気、乾燥の著しいところも避けてください。天板がたわんだり、変形することがあります。

健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

1. 製品購入時の注意事項

購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行うように心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

2. 温度や湿度の変化による換気励行

室内が著しく高温多湿になる場合（温度28℃、相対湿度50％超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

品 質 表 示					
仕 様	品 番	寸 法（単位：mm）			質 量 （単位：kg）
		幅	奥行	高さ	
ダクト無	MTQ20-1212※ WH/NA/DW	1200	1200	720	41.4
	MTQ20-2412※ WH/NA/DW	2400	1200	720	80.4
	MTQ20-3612※ WH/NA/DW	3600	1200	720	119.4
	MTQ20-4812※ WH/NA/DW	4800	1200	720	158.4
	MTQ20-1260※ WH/NA/DW	1200	600	720	23.0
	MTQ20-2460※ WH/NA/DW	2400	600	720	43.6
	MTQ20-3660※ WH/NA/DW	3600	600	720	64.2
	MTQ20-4860※ WH/NA/DW	4800	600	720	84.8
ダクト付	MTQ20-1213※ WH/NA/DW	1200	1300	720	46.5
	MTQ20-2413※ WH/NA/DW	2400	1300	720	90.6
	MTQ20-3613※ WH/NA/DW	3600	1300	720	134.7
	MTQ20-4813※ WH/NA/DW	4800	1300	720	178.8
	MTQ20-1260※D WH/NA/DW	1200	642	720	25.2
	MTQ20-2460※D WH/NA/DW	2400	642	720	48.0
	MTQ20-3660※D WH/NA/DW	3600	642	720	70.8
	MTQ20-4860※D WH/NA/DW	4800	642	720	93.6

天板色：WH＝ホワイト NA＝ナチュラル DW＝ダークウッド

※ W＝ホワイト脚/B＝ブラック脚

構 造 部 材	
天 板	25mm 厚低圧メラミン樹脂化粧板 芯材：ハニカム構造 エッジ：PVC 樹脂
フレーム	40×40mm/ スチール角パイプ 粉体塗装：白色/黒色 アジャスター：PP

保証期間

日本国内において、目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用・改造による故障など、また火災・天災による損傷を除き、通常の使用状態における本製品の保証期間は、お買い上げいただいた日から外観表面仕上げ＝1年・構造部材＝3年とさせていただきます。

お手入れ方法

通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合は薄めた中性洗剤をよく絞った布で汚れを拭き取り、洗剤が残らないように水に浸し固く絞った布で汚れを拭き取り、その後柔らかい布で乾拭きしてください。
※シンナー・アルコール・磨き粉類は使用しないでください。

TOKIO

藤沢工業株式会社

JOIEA432

本社：岐阜市日野南 7－1－7
TEL（058）247－3311

東京：東京都中央区八丁堀 2－20－1 藤和八丁堀ビル4F
TEL（03）3552－8824

静岡：静岡県藤枝市前島 2丁目28番17号
TEL（054）634-2102

大阪：大阪市中央区安堂寺町 2－2－11 NTビル7F
TEL（06）6761－5511

広島：広島市西区東観音町17番18号 同仁ビル2階201号
TEL（082）291-9725

九州：福岡市博多区山王 1－1 6－26 筑紫センタービル205
TEL（092）433－5599

部材・部品一覧表

●組立前に部材・部品をご確認ください。

基本モジュール W1200×D1200の必要部材					
① 天板：2枚	②外脚(D1200用)：2本	③平頭ボルト（長） M6×55：8本		⑦天板受け：4本	⑧平頭ボルト（長） M6×55：12本
		⑤皿頭ボルト M6×15：32本	⑥六角レンチ：1本		

増連部材 W1200増連分の必要部材（W2400×D1200）					
① 天板：2枚	⑨中間脚(D1200用)：1本	③平頭ボルト（長） M6×55：8本	④平頭ボルト（短） M6×15：12本	⑦天板受け：4本	⑧平頭ボルト（長） M6×55：12本
	⑩連結金具：6個	⑤皿頭ボルト M6×15：32本	⑥六角レンチ：1本		

1200×600 の必要部材					
① 天板：1枚	⑪外脚(D600用)：2本	③平頭ボルト（長） M6×55：4本		⑦天板受け：2本	⑧平頭ボルト（長） M6×55：6本
		⑤皿頭ボルト M6×15：16本	⑥六角レンチ：1本		

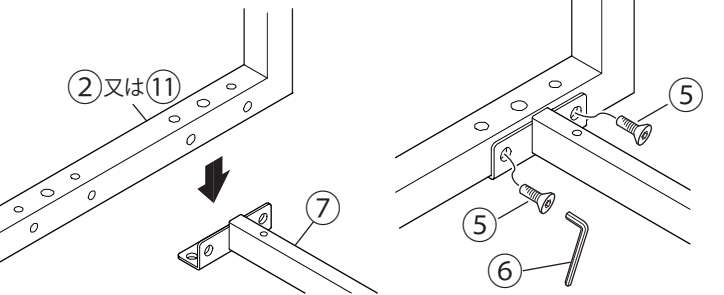
D1200用ダクト部材 W1200×D1200にダクトを付ける場合の必要部材			D600用ダクト部材 W1200×D600にダクトを付ける場合の必要部材		
⑫ダクト：1個	⑬フタ：2個	④平頭ボルト（短） M6×15：6本	⑬ダクト：1個	④平頭ボルト（短） M6×15：3本	⑥六角レンチ：1本

増連部材 D600増連分の必要部材（W2400×D600）					
⑮中間脚(D600用)：1本	③平頭ボルト（長） M6×55：4本	④平頭ボルト（短） M6×15：4本			
⑩連結金具：2個	⑤皿頭ボルト M6×15：16本	⑥六角レンチ：1本			

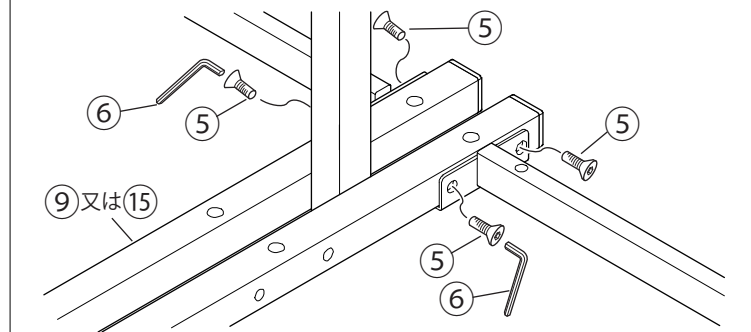
組立方法

- 組立の際は手を保護するために、軍手やゴム手袋を着用していただくようお願いいたします。
- 製品に汚れ・傷などがつかないように保護してください。
- 組立は2人以上で行ってください。

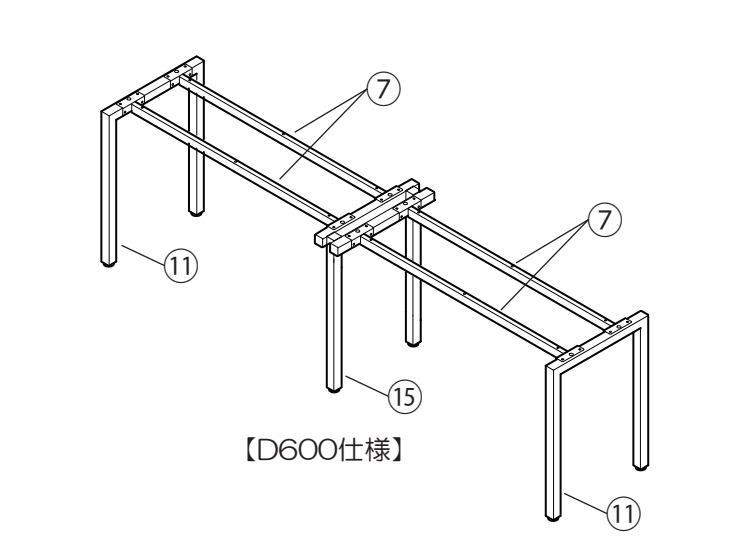
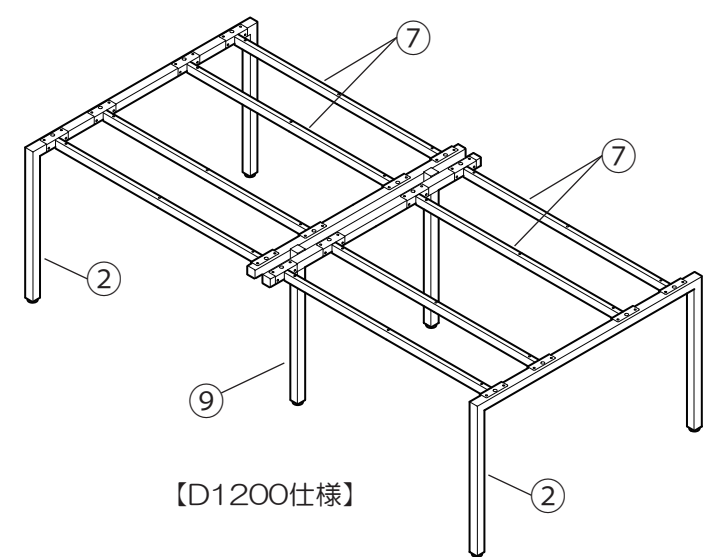
手順1
養生した床面に⑦天板受けを下図のように置き、両端の金具の穴と②外脚（D1200用）、もしくは⑪外脚（D600用）の穴を合わせ、側面のネジ穴2ヶ所に⑤皿頭ボルトで仮締めします。この作業を繰り返します。
（⑦天板受けの本数は、D600=2本、D1200=4本）



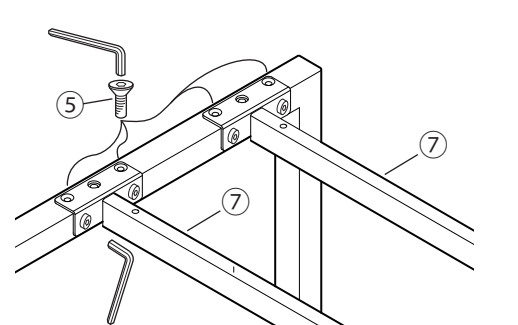
手順2
W1200の場合は **手順1** の作業を反対側も行います。増連の場合は **手順1** の後、反対側に同様の手順で⑨中間脚（D1200用）、もしくは⑮中間脚（D600用）を仮組みし増連していきます。



手順3
脚部の仮組みが終わりましたら、すべての脚を支えながら反対向きに起こしてください。

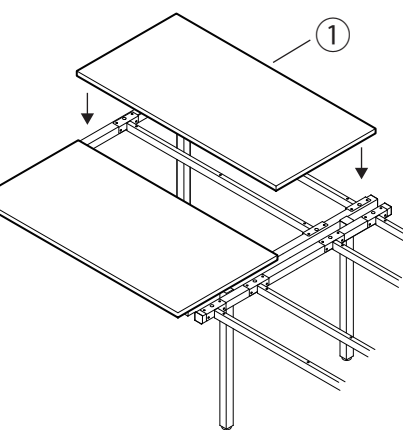


手順4
⑦天板受けの上面の皿穴に⑤皿頭ボルトを仮締めした後に本締めをしてください。その後に **手順2** までに仮締めしたボルトを本締めしてください。

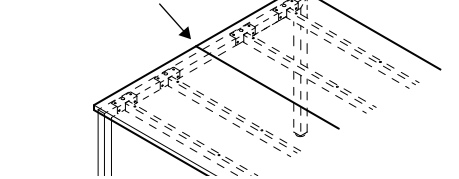


※フレームが完成した状態で設置場所へ移動を済ませてください。

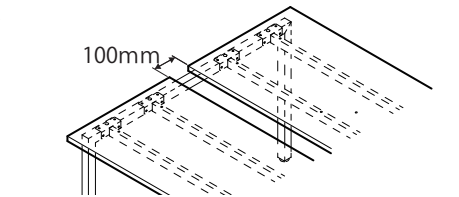
手順5
①天板を載せて裏面から③⑧平頭ボルト（長）で仮締めしてください。



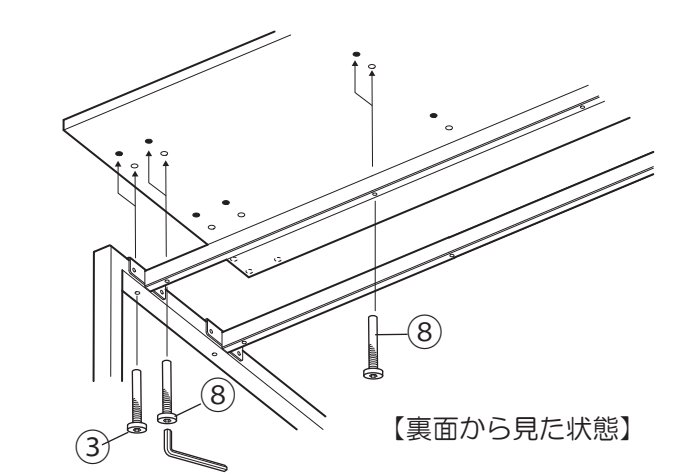
【ダクト無し】のモデルは天板を中央部でスキマが無いように設置してください。



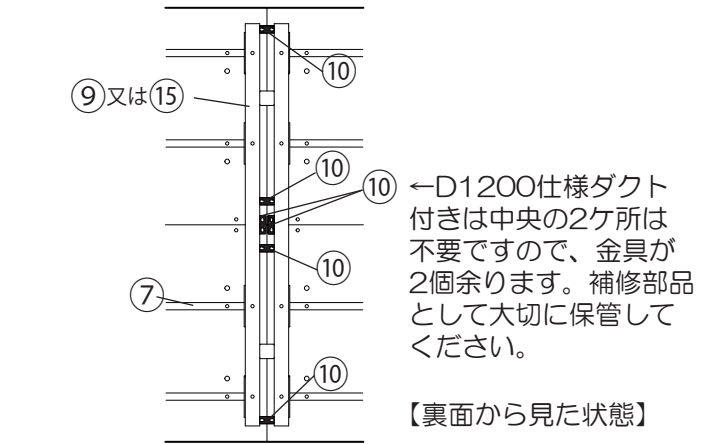
【ダクト付き】のモデルは天板を中央部で100mmほど空間を開けて設置してください。



【ダクト無し】のモデルは●のナットにボルトで仮締め
【ダクト付き】のモデルは○のナットにボルトで仮締め

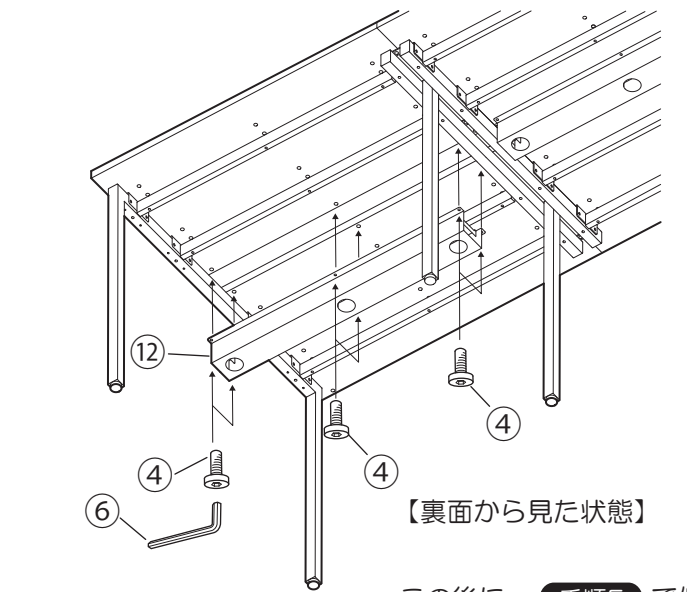


増連の場合は⑩連結金具を裏面から④平頭ボルト（短）で仮締めした後、天板の間にスキマが無いことを確認してからボルトを本締めしてください。

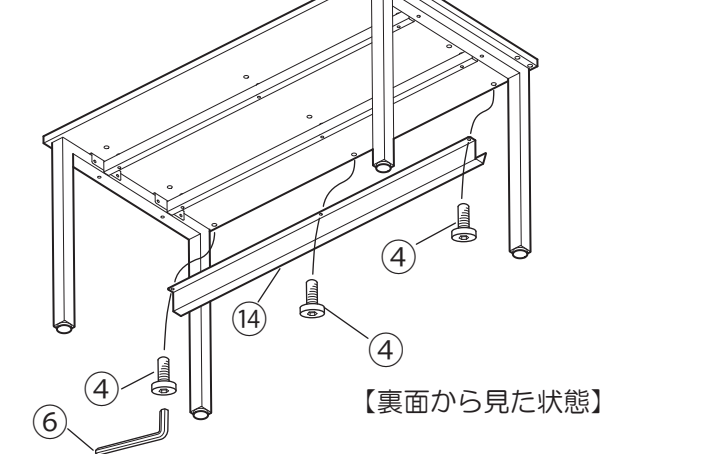


手順6 ※以降の作業はダクト付きモデルのみです。ダクト無しモデルの場合は **手順5** で仮締めしたボルトを本締めした後、**手順8** へお進みください。

【D1200仕様】裏面から⑫ダクトを④平頭ボルト（短）で仮締めした後に本締めしてください。必ず2人以上でダクトが落ちないように保持しながら組立してください。



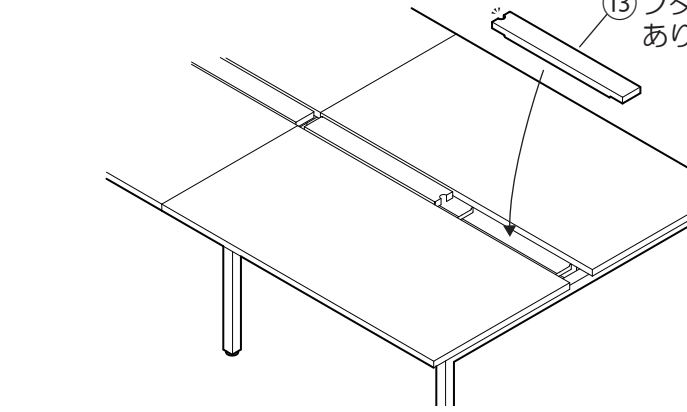
【D600仕様】裏面から⑭ダクトを④平頭ボルト（短）で仮締めした後に本締めしてください。必ず2人以上でダクトが落ちないように保持しながら組立してください。



この後に、**手順5** で仮締めしたボルトを本締めしてください。

手順7 ※D1200仕様ダクト付きモデルのみ。

⑬フタを設置して組立は完了です。



手順8

床面とすべての脚がしっかり接地しているか確認し、浮いている箇所はアジャスターを回して調整してください。

